

令和2年度 呉羽高等学校アクションプラン - 6 -

重点項目	その他（保護者・生徒・教職員・地域との連携、悩みを持つ生徒への支援）		
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> 本校教育活動とPTA活動の連携を図るとともに、地域の声を聞き、開かれた学校づくりに努める。 不登校などの悩みを持つ生徒への支援を行う。 		
現状	<ul style="list-style-type: none"> 学校と保護者との関係は良好であるが、各行事への保護者の参加は多くない。 SPTA懇談会は、年2回開催しており、呉高芸術祭の食堂運営、生徒の生活実態等について、生徒・保護者・教職員が意見交換を行う有意義な機会となっている。 ホームページへの行事の掲載率は7割程度で、掲載が遅れたり、更新が滞っているものもある。保護者や中学生、地域の方から迅速かつ頻繁な更新を望む声が聞かれる。 不登校傾向を持つ生徒が複数存在しており、体調不良など身体面での問題や、授業を休みがちなことからくる成績不振などの問題が出てきている。また、発達障害の傾向を持つ生徒も存在している。このような生徒・保護者に対応するために、教員も研修が必要となっている。 		
達成目標	①PTA行事に対する満足度の向上	②学校行事等のHPへの掲載を、概ね2週間以内に行い、タイムリーな広報に努める。	③悩みを持つ生徒に対応するための研修会を年間で1回以上行う。
	・満足度調査で4以上（5段階評価）	・学校行事の概ね2週間以内の更新率80%以上	・参加率80%以上
方策	<ul style="list-style-type: none"> PTA活動のパンフレットやホームページを通して各行事の様子を知らせ、保護者の行事への参加を促す。 参加した保護者を対象にアンケートを実施し、満足度を調査する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事の担当者へ事前事後の更新を促す。 写真データの収集方法を工夫し、記事作成にかかる時間を短縮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への対応、保護者への対応、合理的配慮の提供など、最も必要とされる内容を優先して、実施する。
達成度	<ul style="list-style-type: none"> さわやか運動と学校保健委員会は大変好評であった。（5段階評価はしなかった） 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事の2週間以内の掲載率は77.8%（1月末現在）。 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期末考査期間中の12月4日に実施。参加率は72.3%であった。
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大予防のためPTA総会は書面総会とし、PTA講演会、呉高芸術祭のPTA参加も中止した。 秋のさわやか運動は19名の役員の参加があった。 学校保健委員会は新型コロナウイルス感染症をテーマとし、好評であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は中止となった行事が多く、HPへの掲載数は例年よりも少なかった。 教務部からオープンハイスクールに代わる中学生向けの学校紹介のコーナーが新設され、動画も使った充実した内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校のSCの先生を講師に招き、生徒や保護者との面談のコツ、本校生徒の特徴などを教えていただいた。
評価	<p>① C</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施した範囲では概ね高評価をいただいたと思う。 	<p>② C</p> <ul style="list-style-type: none"> 掲載率は概ね達成したが、部活動紹介の更新が遅れた。 	<p>③ C</p> <ul style="list-style-type: none"> 考査期間中の午後ということで、出張や休暇の先生方が多く、目標の数値には達しなかった。
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> 生徒と保護者が一緒に活動できる行事を継続し、地域に開かれた学校づくりに努めてほしい。 悩みを持つ生徒への支援がさらに充実できればよい。 皆が余裕がなくなって子供たちの異変に気づいてあげられなくなっている。定期的なストレスチェックや専門のカウンセリングなど、外部機関の活用も必要な時代になっている。 		
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> 活動に制約のある中でも可能な範囲で行事を実施し、保護者や地域に開かれた学校づくりに努める。 生徒の悩みは多様化しており、それにふさわしい支援が行えるように研修会を企画していきたい。 		

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった）